

Ta-d テフラ層底面すべりの削痕



斜面堆積物上のTa-d最下部が削られ付着する。崩壊直後のすべり面は水分を含みすべり易い状態だった。

Ta-d テフラ層底面 をすべり面とする 土層崩壊

Ta-d 基底部の基質は細粒
で水を保持しやすく、また
破砕しやすい特徴を持つ。



テフラ構造を残した移動体

朝日地区



Ta-d ⇕

Ta-d ⇕



幌里(知決辺)地区

厚幌地区のテフラ・土層すべり



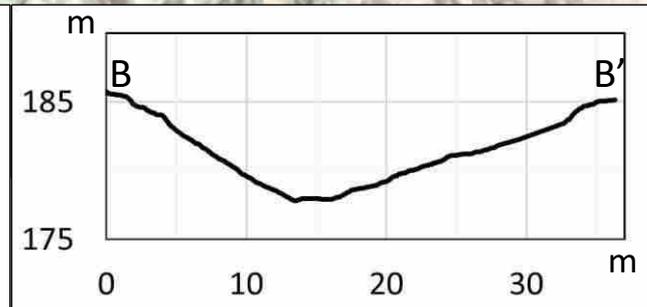
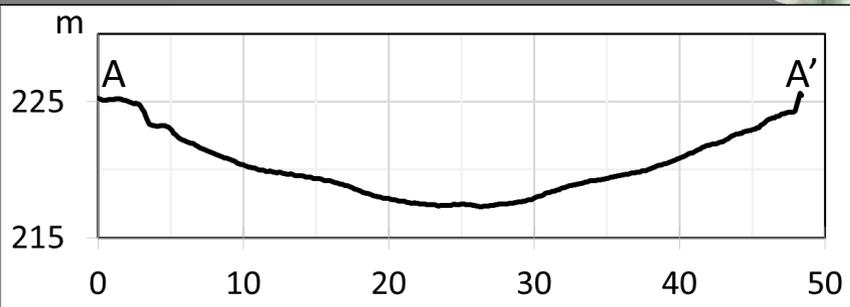
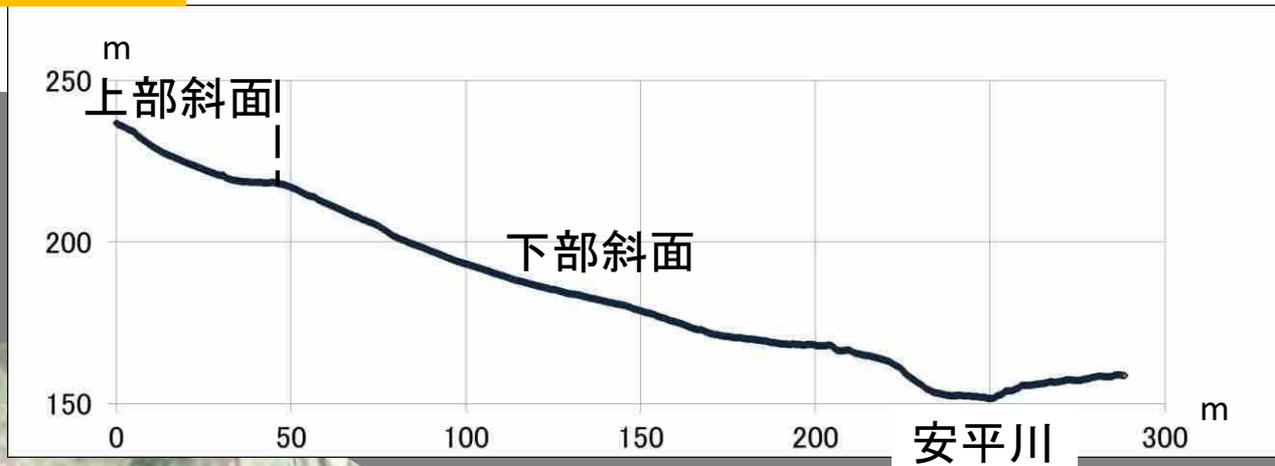
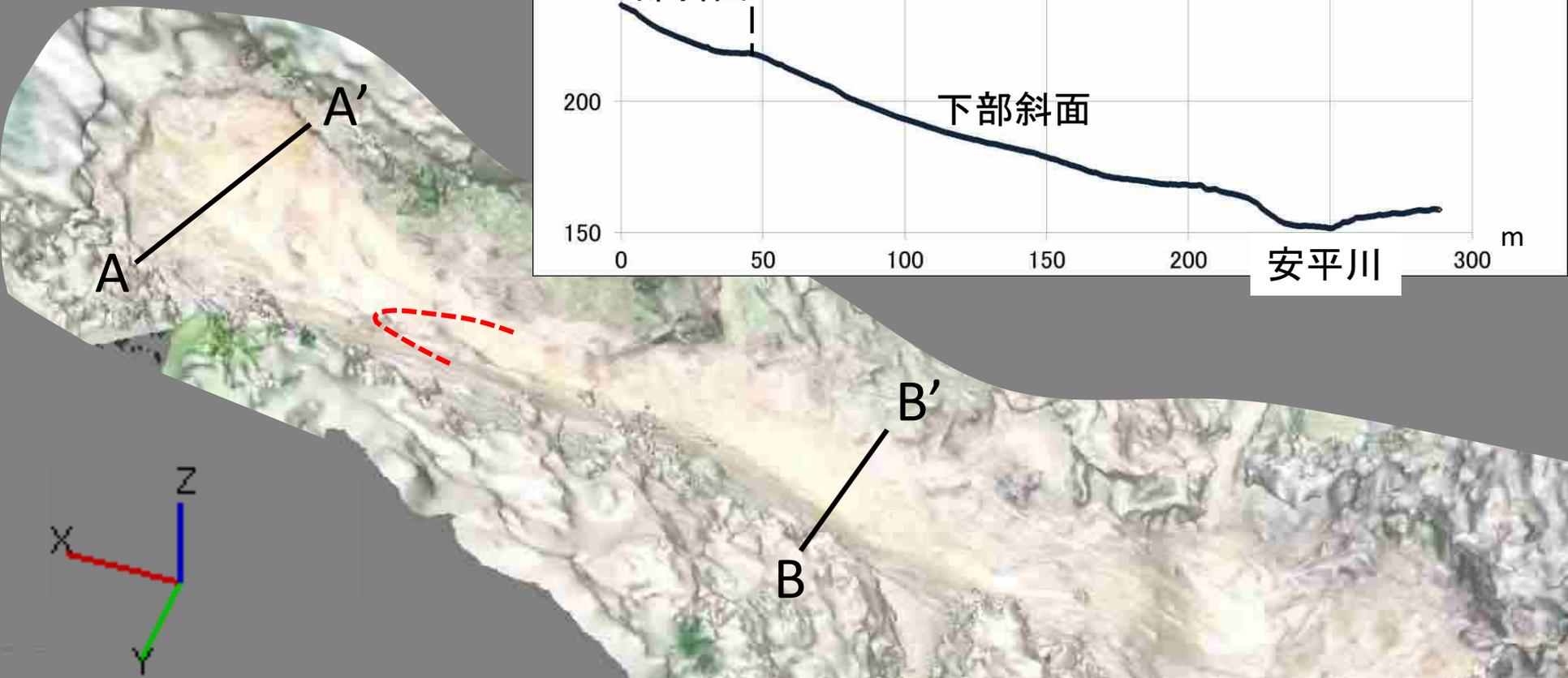
複数のTa-d底面のすべりが並列して発生

4600～2500yrBPにもTa-d底面すべり発生（田近ほか2016）



厚幌遺跡調査（2012）

谷頭斜面 (En-a) の崩壊：安平川上流



上部：浅い谷頭斜面

崩壊源は斜面上部の**En-a**以上の土層



En-a: 層厚130cm, すべり面は**Spfa1**まじり火山灰土
1.8万年前噴出 4.2万年前噴出

上部斜面の堆積物



Spfa1まじり火山灰土の上部に
ピンク火山灰土



幌里地区緩斜面の土層すべり



幌里地区緩斜面の土層すべり



10/27撮影

傾斜10度以下の沢型緩斜面でテフラを含む土層が流動的に変動. 丘陵地にはSpfa1以降のテフラ層が堆積する.